

## 設置の趣旨等を記載した書類

### 参 考 資 料

資料 1	教員養成で共通して開講している主な必修科目（※教育科目を除く）	1
資料 2	学校教員養成課程のカリキュラム構成	2
資料 3	教職実践演習の履修カルテに定める領域と対応科目 愛知県育成指標の対応表	4
資料 4	大学での学びと実践を結びつける往還的学修の仕組	7
資料 5	カリキュラムマップ（履修系統図）等	8
資料 6	教員組織	10
資料 7	就業規則及び再雇用職員就業規則	11
資料 8	シニア特別教員制度に関する運用基準	22
資料 9	履修基準（卒業要件）	23
資料 10	履修モデル	24
資料 11	教育実習先確保の状況	30
資料 12	教育実習の事前・事後指導の計画	32
資料 13	体験活動先一覧	33
資料 14	編入学の既修得単位の読替（例）	37
資料 15	履修モデル（編入学）	38
資料 16	教師への Road Map	39
資料 17	AUE 学生チャレンジ・プログラム募集概要	40



# 教員養成で共通して開講している主な必修科目（※教育科目を除く）

2017年度から		2021年度から	
共通科目		共通教育科目	
<教師教養科目>		<教育実践教養科目>	
初等教育 教員養成課程	現代的教育課題 対応科目 (4科目)	実践力育成科目 (6科目)	【教職教養 科目】 ・教育原論 ・教職論 ・特別支援 教育基礎 ・発達障害 のある 児童生徒 理解基礎
中等教育 教員養成課程	現代的教育課題 対応科目 (4科目)	実践力育成科目 (6科目)	
特別支援学校 教員養成課程	現代的教育課題 対応科目 (4科目)	実践力育成科目 (6科目)	
養護教諭 養成課程	現代的教育課題 対応科目 (4科目)	実践力育成科目 (6科目)	



2021年度から		専門教育 科目	
共通教育科目		学校教育 実習の 指導	
<教育実践教養科目>			
【教職教養 科目】	【現代的教育課題 対応科目】 ・外国人児童生徒支 援教育 ・ジェンダー・セクシュア リティ教育 ・情報の活用と管理 ・学校保健・学校安全	【実践力育成科目】 ・学校体験活動入門 ・学校体験活動Ⅰ ・学校体験活動Ⅱ ・多文化体験活動 ・自然体験活動 ・企業体験活動	学校教育 実習の 指導
・特別支援 教育基礎 ・発達障害 のある 児童生徒 理解基礎	【現代的教育課題 対応科目】 ・外国人児童生徒支 援教育 ・ジェンダー・セクシュア リティ教育 ・情報の活用と管理 ・学校保健・学校安全	【実践力育成科目】 ・学校体験活動入門 ・学校体験活動Ⅰ ・学校体験活動Ⅱ ・多文化体験活動 ・自然体験活動 ・企業体験活動	

※朱書きが改組後の追加・補強科目

※学部改組における科目の追加・補強の考え方について  
 「教職教養科目」として新たに据える4科目：新しい持続可能な社会に向けた、ユニバーサルデザインの学校  
 教育の基盤について、多面的に捉えて理解する  
 「現代的教育課題対応科目」の新設3科目：新しい教育の機会均等やマネジメントの在り方について探る  
 主免実習の事前・事後指導を新たに括る「学校教育実習の指導」：対人関係と問題解決の能力を伸ばす



# 教育学部 学校教員養成課程のキャリアラム構成

## 専門教育科目

### 『卒業研究』

《目的：探究活動に基づき情報分析力を伸ばす》

### 『専攻科目群』

《目的：教職の専門的資質能力を高める》

※専攻毎に必修科目・選択科目を開設

往還的  
学修

### 『教育実践開発科目群』

《目的：大学と学校等の協働の中で  
実践的指導力を開発する》

- 学校教育実習の指導 ○学校教育実習
- 初等・中等教科教育開発科目
- 教職実践演習 等

### 『専攻基礎科目群』

《目的：教職に必要な専門的資質能力の基礎を育成する》

- 教育科目 ○保育内容指導法科目 ○教科教育法科目 ○保育・教科内容科目 ○養護に関する科目

※教育職員一種免許状取得の必修科目群を開設し、所属専攻・専修の特性に基づいた履修指導を行う  
(但し、特別支援については専攻科目にて免許状取得の必修科目群を開設する)

架橋的  
学修

## 共通教育科目

- 『教養科目群（【基礎教養科目】・【教育実践教養科目】）』 ○日本国憲法 ○情報教育入門
- 外国語科目 ○スポーツ科目

《目的：教職に必要な汎用的  
資質能力の基礎を育成する》

# 教育学部 学校教員養成課程のキャリアラム変更のポイント

## 【初等教育教員養成課程教科専修の例】

科目区分		免許法上の区分
教科内容科目		小学校の教科に関する専門的事項
教科専攻科目		中学校の教科に関する専門的事項 (一般的包括的内容を含むもの) (その他)
教職科目	教科教育法科目	小学校の各教科の指導法 中学校の各教科の指導法
	教育科目	教育の基礎的理解に関する科目 道徳、総合的な学習の時間等の指導法および生徒指導、教育相談等に関する科目 教育実践に関する科目



## 【学校教員養成課程義務教育専攻教科指導系の例】

科目区分		免許法上の区分
専攻基礎科目群	教科内容科目	小学校の教科に関する専門的事項 中学校の教科に関する専門的事項 (一般的包括的内容を含むもの)
	教科教育法科目	小学校の各教科の指導法 中学校の各教科の指導法
	教育科目	教育の基礎的理解に関する科目 道徳、総合的な学習の時間等の指導法および生徒指導、教育相談等に関する科目
専攻科目群		中学校の教科に関する専門的事項 (その他) 課程認定を受けない科目 教育実践に関する科目
教育実践開発科目群		小学校の教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目 中学校の教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目

(科目群の変更により期待する効果)

※教育職員一種免許状取得の必修科目群を集約することで、  
キャリアラム体系が学生や学外者からも明確となる。

コアキャリアラムによる最低限の力と教員育成指標に求める資質・能力との関係、本学の学位授与方針が明確となる。  
共通に必要な教員養成の質保証をした上で、より柔軟な教育が可能となり質の向上を期待できる。

# 教職実践演習の履修カルテに定める領域と対応科目 愛知県育成指標の対応表

## 愛知県教員育成指標と教職実践演習の4領域の対応関係表

定義された領域	定義された 資質・能力	愛知県教員育成指標「着任時の姿」の内容	コード	中教審：教職実践演習の4領域との対応
素養	教育的愛情・使命感・責任感	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒の伸びようとする姿を捉え、愛情をもって寄り添い、支え続け、児童生徒の成長に喜びを感じる。</li> <li>○児童生徒の未来を真剣に考えるときともに、将来を担う児童生徒の成長を請け負う使命感や責任感を自覚する。</li> </ul>	A-1	I：使命感や責任感、教育的愛情
	倫理観・人間性・行動力	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高い倫理観をもち、法令を遵守し、児童生徒の手本となるような立ち振る舞いを心がけ、児童生徒との信頼関係を築こうとする。</li> <li>○児童生徒の目標・憧れとなるような魅力的な人間の姿を追究する。</li> <li>○自ら行動し、粘り強く、職務に取り組もうとする。</li> </ul>	A-2	I：使命感や責任感、教育的愛情
	自己教育力・創造的 思考力	<ul style="list-style-type: none"> <li>○幅広い教養と高い専門性を備えつつ、常に自分の姿を振り返り、向上心を忘れることなく自ら学び続ける意欲をもっている。</li> <li>○新たな問題に直面しても、柔軟に対応するときともに、常に創意工夫しながら物事に取り組んでいることとする。</li> </ul>	A-3	I：使命感や責任感、教育的愛情
	コミュニケーション 力	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の考えを伝えるときともに、周囲の状況や相手の思いを踏まえ、共通理解を図りながら、協動的に行動する。</li> </ul>	A-4	II：社会性や対人関係能力
	児童生徒理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもの発達や成長に関わる基礎的な知識を身に付け、児童生徒理解の意義や重要性を理解し、一人一人に愛情をもち積極的に関わろうとする。</li> </ul>	B-1	III：幼児児童生徒理解や学級経営等
	学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導要領を理解し、発問や板書、環境の構成などの基礎的な指導技術を身に付け、指導計画に従い、実践しようとする。</li> </ul>	B-2	IV：教科・保育内容等の指導力
	生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒指導及びキャリア教育の意味を理解するときともに、個や集団を指導するための手だてを理解し、実践しようとする。</li> </ul>	B-3	III：幼児児童生徒理解や学級経営等
指導力	多様性への理解と教育 支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権感覚をもつとともに、児童生徒の個性を尊重し、個に応じた指導・支援をする必要性を認識している。</li> <li>○特別支援教育、外国人児童生徒教育など特別な支援を必要とする児童生徒に対する教育の基礎的な知識を身に付けている。</li> </ul>	B-4	III：幼児児童生徒理解や学級経営等
	保健教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校における保健教育は保健指導と保健学習によって行われることを理解し、個や集団を対象に取り組もうとする</li> </ul>	B-5	IV：教科・保育内容等の指導力
	健康相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校保健安全法による健康相談の位置付けを理解し、養護教諭として対応しようとする</li> </ul>	B-6	IV：教科・保育内容等の指導力
	学級経営・学年経営 ・学校経営	<ul style="list-style-type: none"> <li>○理想とする児童生徒の姿や自分自身の姿をもち、の実現に向けて、実践しようとする。</li> <li>○学校教育の意義や教育に関する今日的な課題などの教育に関わる情報を積極的に得ようとしていく</li> </ul>	C-1	III：幼児児童生徒理解や学級経営等
	学校安全・危機管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校安全についての基礎的な知識を身に付け、児童生徒の回りの危険を察知し、回避したり、適切に対応したりしようとする。</li> </ul>	C-2	III：幼児児童生徒理解や学級経営等
	同僚との連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会人として良識ある言動をし、円滑な人間関係をつくらうとする。</li> </ul>	C-3	II：社会性や対人関係能力
	地域社会との連携・ 折衝	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育公務員としての自覚をもち、社会とのつながりを意識して行動する。</li> <li>○家庭、地域、関係諸機関との連携の重要性を理解し、積極的に関わらうとする。</li> </ul>	C-4	II：社会性や対人関係能力
マネジメント力	保健室経営	<ul style="list-style-type: none"> <li>○養護教諭の役割と保健室の機能を理解し、実践しようとする。</li> </ul>	C-5	III：幼児児童生徒理解や学級経営等
	保健管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○救急処置、健康診断、疾病予防などの、保健管理に関する基礎的な知識と技術を身に付け、実践しようとする。</li> </ul>	C-6	III：幼児児童生徒理解や学級経営等
	保健組織活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校保健委員会など、様々な保健組織の意義を理解し、養護教諭として積極的に関わらうとする。</li> </ul>	C-7	III：幼児児童生徒理解や学級経営等



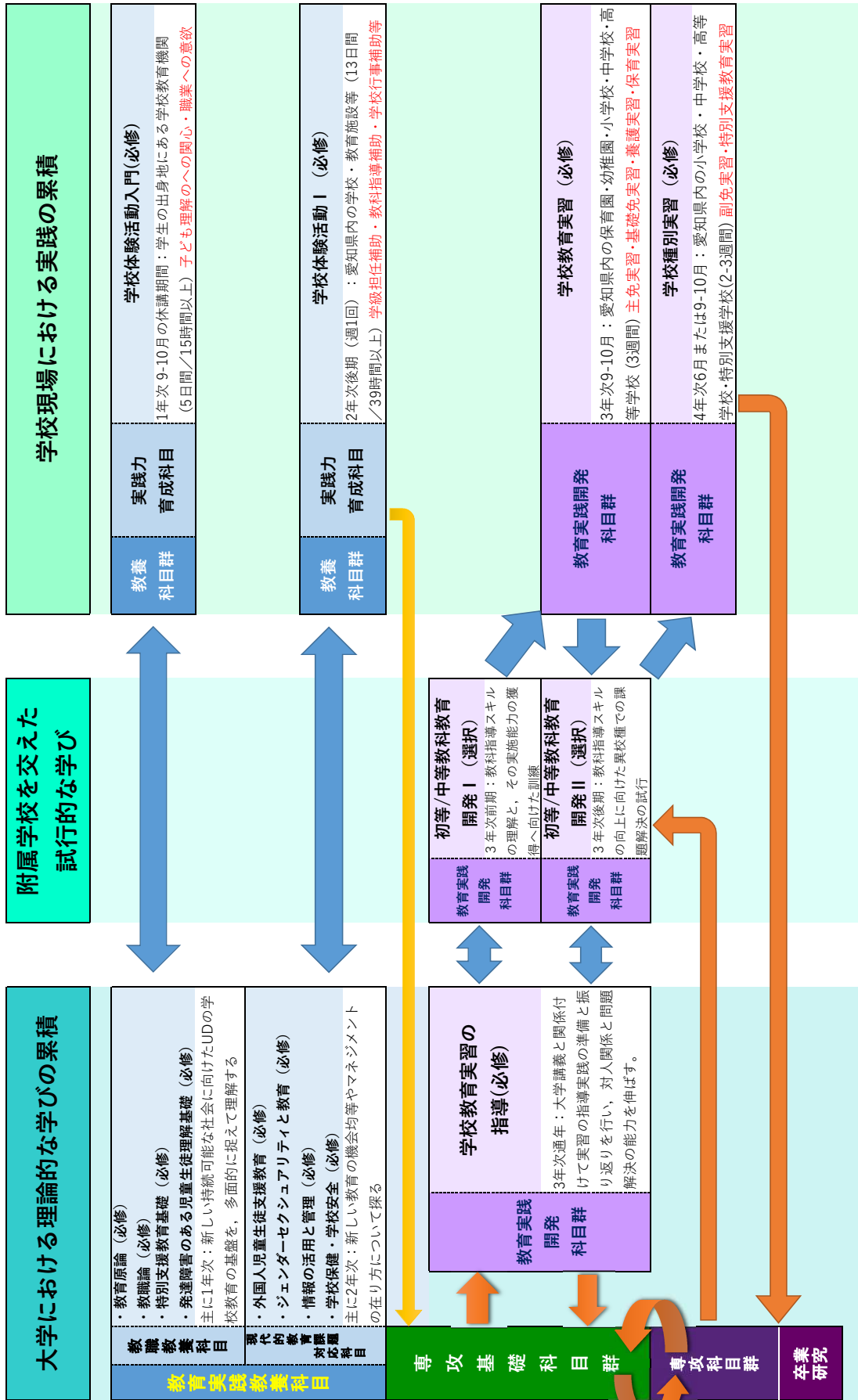


愛知教育大学教育学部の授業科目との対応関係表

領域	対応科目(幼・小・中)	コード	対応科目(特別支援)	コード	対応科目(養護教育)	指標
I 学校 に関する 基礎的理 解	教職論	A-1・2, C-3	教職論	A-1・2, C-3	教職論	A-1・2, C-3
	教育原論	A-2	教育原論	A-2	教育原論	A-2
	発達と学習の心理学	B-1	発達と学習の心理学	B-1	発達と学習の心理学	B-1
	発達障害のある児童生徒理解基礎	B-1・4	発達障害のある児童生徒理解基礎	B-1・4	発達障害のある児童生徒理解基礎	B-1・4
	外国人児童生徒支援教育	B-1・4	外国人児童生徒支援教育	B-1・4	外国人児童生徒支援教育	B-1・4
	ジェンダー・セクシュアリティと教育	B-1・4	ジェンダー・セクシュアリティと教育	B-1・4	ジェンダー・セクシュアリティと教育	B-1・4
	特別支援教育基礎	B-4	特別支援教育基礎	B-4	特別支援教育基礎	B-4
	幼児教育課程論(幼児教育課程論A)	B-2	教育課程論	B-2	教育課程論	B-2
	教育課程論	B-2	教育課程論	B-2	教育課程論	B-2
	情報の活用と管理	C-1・2	情報の活用と管理	C-1・2	情報の活用と管理	C-1・2
	教育システム論	C-1・2・4	教育システム論	C-1・2・4	教育システム論	C-1・2・4
	学校保健・学校安全	C-2	学校保健・学校安全	C-2	学校保健・学校安全	C-2
	学校サポート活動入門	A-1・2・4, B-1・4	学校サポート活動入門	A-1・2・4, B-1・4	学校サポート活動入門	A-1・2・4, B-1・4
	学校サポート活動I	A-1~4,	学校サポート活動I	A-1~4,	学校サポート活動I	A-1~4, B-1・4
	学校サポート活動II	B-1・4	学校サポート活動II	B-1・4	学校サポート活動II	A-1~4, B-1・4
	保育内容科目(5領域)	A-3, B-2	衛生学・公衆衛生学	A-3, B-5	初等各科教育内容	A-3, B-2
	初等各科教育内容	A-3, B-2	予防医学	A-3, B-5,	特別支援教育基礎論	
	中等各科教育内容科目	A-3, B-3	学校保健(学校安全を含む。)	C-5~7	視覚障害者心理・生理概論	
	II 専攻 基礎的理 解に 関する 領域の			学校保健実習		視覚障害者病理概論
			栄養学(食品学を含む。)		聴覚障害者心理・生理概論	
			解剖生理学I		聴覚障害者病理概論	
			微生物学		知的障害者心理・生理概論	
			精神保健		知的障害者病理概論	
			看護学概論		肢体不自由者心理・生理概論	
			看護実習I		肢体不自由者病理概論	
			臨床実習I	A-3, B-5	病弱者心理・生理概論	A-3, B-1・4
			救急処置		病弱者病理概論	
			解剖生理学II		発達障害者教育総論	
			小児保健		言語障害者教育総論	
			臨床実習II		重複障害者教育総論	
			診断学I		○視覚障害者の自立活動	
			診断学II		○点字の基礎	
			養護概説	A-3, B-5	○聴覚障害者の自立活動	
			養護活動実習I		○手話の基礎	
			健康相談	A-3, B-6	○視覚障害者のアセスメント	
			健康相談活動		○聴覚障害者のアセスメント	

領域	対応科目(幼・小・中)	コード	対応科目(特別支援)	コード	対応科目(養護教育)	指標
Ⅲ 指導法 に関する 児童の 理解に 関する 領域	道徳教育の理論と方法		道徳教育の理論と方法	B-2	道徳教育の理論と方法	B-2
	総合的な学習の時間の指導法	B-2	総合的な学習の時間の指導法	B-2	総合的な学習の時間の指導法	B-2
	特別活動の理論と方法		特別活動の理論と方法	B-2	特別活動の理論と方法	B-2
	教育の方法と技術		教育の方法と技術	B-2	教育の方法と技術	B-2
	幼児の理解と指導 (幼児の理解と指導A)	B-1・2	生徒指導・進路指導の理論と方法	B-3・4	生徒指導・進路指導の理論と方法	B-3・4
	生徒指導・進路指導の理論と方法	B-3・4	教育相談の理論と方法	B-3・4	教育相談の理論と方法	B-3・4
	教育相談の理論と方法		中等教育教育法科目	A-3, B-1・ 2・4	初等教育教育法科目	A-3, B-1・2・4
	保育内容指導法(5領域)				視覚障害者の教育課程・指導法	
	初等教育教育法科目	A-3, B-1・2・4			聴覚障害者の教育課程・指導法	
	中等教育教育法科目				知的障害者の教育課程・指導法	A-3, B-1~4
					肢体不自由者の教育課程・指導法	
					障害者の教育課程・指導法	
					学校教育実習の指導(主免実習・事前事後指導)	A-1~4, B-1~4, C-1~4
					学校教育実習(養護教諭：主免実習)	A-1~4, B-1・3~ 6, C-2~7
Ⅳ 実践的 指導力 の形成 に 関する 領域	初等教育開発科目	A-3, B-1・2・4, C-3	学校教育実習の指導(主免実習・事前事後指導)	A-1~4, B-1~4, C-1~4	学校教育実習の指導(主免実習・事前事後指導)	A-1~4, B-1~4, C-1~4
	中等教育開発科目		学校教育実習(養護教諭：主免実習)	A-1~4, B-1~4, C-1~4	学校教育実習(小学校・主免実習)	A-1~4, B-1~4, C-1~3
	学校教育実習の指導(主免実習・事前事後指導)		学校教育実習の指導(主免実習・事前事後指導)	A-1~4, B-1~4, C-1~4	特別支援学校教育実習	A-1~3, C3
	学校教育実習(幼稚園・主免実習)	A-1~4, B-1~4, C-1~4	学校教育実習(幼稚園・副免実習)		特別支援学校教育実習	
	学校教育実習(小学校・主免実習)		学校教育実習(小学校・副免実習)		教職実践演習	
	学校教育実習(中学校又は高等学校・主免実習)		学校教育実習(中学校又は高等学校・副免実習)			
	学校教育実習(副免実習)	A-1~4, B-1~4, C-1~4	学校教育実習(副免実習)			
	中等教育実習(副免実習)		中等教育実習(副免実習)			
	高等学校教育実習(副免実習)		高等学校教育実習(副免実習)			
	教職実践演習	A-1~3, C3	教職実践演習			

大学での学びと実践を結びつける往還的学修の仕組み



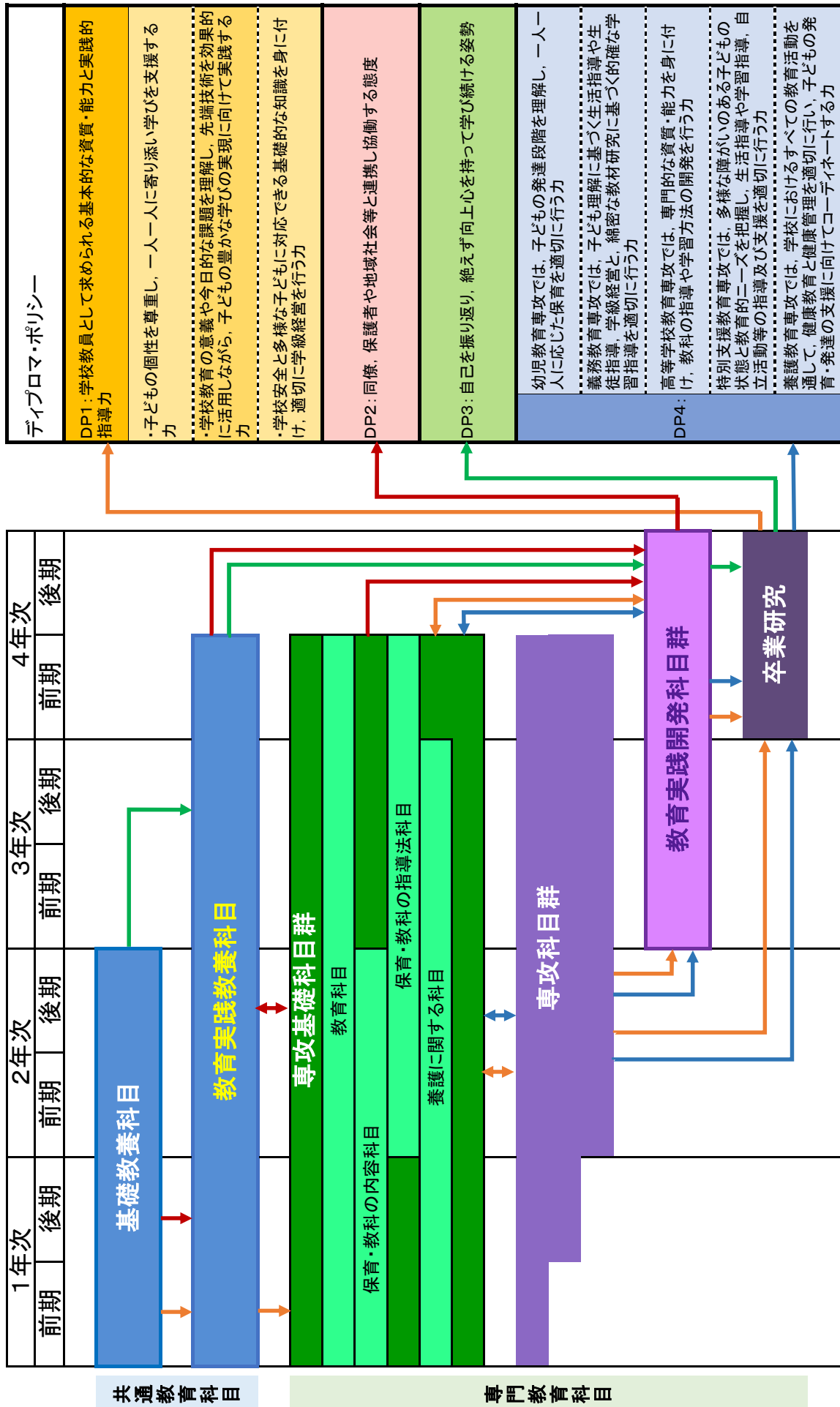
大学での学びと学校現場での学びの往還 (Reciprocal learning between university and school field)

講義による実践経験と知識との実働 (Practical experience and knowledge through lectures)

知識の関連付けと活用での統合 実践経験に真付けられた 総合的な知識・能力の確立 (Integration of knowledge and ability through related knowledge and use of practical experience)



○学校教員養成課程カリキュラムマップ(履修系統図)



○カリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシーの相関

		ディプロマ・ポリシー					
		(DP1) 学校教員として求められる基本的な資質・能力と実践的指導力			DP2	DP3	DP4
		DP1-1	DP1-2	DP1-3			
		子どもの個性を尊重し、一人一人に寄り添い学びを支援する力	学校教育の意義や今日的な課題を理解し、先端技術を効果的に活用しながら、子どもの豊かな学びの実現に向けて実践する力	学校安全と多様な子どもに対応できる基礎的な知識を身に付け、適切に学級経営を行う力	同僚、保護者や地域社会等と連携し協働する態度	自己を振り返り、絶えず向上心を持って学び続ける姿勢	<p>幼児教育専攻では、子どもの発達過程を理解し、一人一人に応じた教育・保育を適切に行う力</p> <p>義務教育専攻では、子ども理解に基づく生活指導や生徒指導、学級経営と、綿密な教材研究に基づいた確かな学習指導を適切に行う力</p> <p>高等学校教育専攻では、専門的な資質・能力を身に付け、教科の指導や学習方法の開発を行う力</p> <p>特別支援教育専攻では、多様な障がいのある子どもの状態と教育的ニーズを把握し、生活指導や学習指導、自立活動等の指導及び支援を適切に行う力</p> <p>養護教育専攻では、学校におけるすべての教育活動を通して、健康教育と健康管理を適切に行い、子どもの発達・発達への支援に向けてコーディネートする力</p>
(CP1) 基礎教養科目：大学での学びの入り口として、深い教養を身に付ける必要感や目指す職業人の魅力や社会的意義を認識し、主体的な問題発見及び問題解決能力を育成							
カリキュラム・ポリシー	CP1-1	【初年次演習】【キャリアデザイン科目】：多様な学修歴を有する入学者に対応できるように、大学生活や社会に出る準備段階としての学修意欲を高め、学習規律を身に付ける	○			○	◎
	CP1-2	【課題探究科目】：学校現場で求められる「課題を発見する力」「情報を読み取る力」「複眼的に物事をとらえる力」「他者と協働する力」「解決に導く力」等の主体的な問題発見及び問題解決能力や能動的な学修活動能力を育成する		◎		○	
	CP2-1	【教職教養科目】：教育実践を支える職業人の役割について考えとともに、新しい持続可能な社会に向けた、ユニバーサルデザインの学校教育の基礎について、多面的に捉えて理解する	◎	◎	◎	○	○
	CP2-2	【現代的教育課題対応科目】：学校現場で対応の要請が高まる外国人児童生徒支援教育、学校安全等を題材に、新しい教育の機会均等やマネジメントの在り方について探る	◎	◎	○	○	
	CP2-3	【実践力育成科目】：子どもの生活実態を知り、子どものコミュニケーション能力を養い、感性を磨くなど、教育実践を支えるための実践力を高めることを目的に、附属学校や国内外の連携協力校、地域社会等の協力を得て実施する	○	○	○	◎	◎
(CP2) 教育実践教養科目：教職及び教育を支える専門職に必要な資質・能力の基礎を育成するため							
(CP3) 専修科目：各課程において教職または教育支援専門職としてのキャリアの形成及びその専門性を高める							
CP3-1	【専攻基礎科目群】：教職の基礎となる理論や指導実践に関わる知識と経験を修得する教職課程対応科目群からなる	○	○	○	○		◎
CP3-2	【専攻科目群】：専門領域の精深な知識を修得して教職に求められる学識と能力を培う	○	◎	○			◎
(CP4) 実習科目：大学での学びと実践を結び付ける							
CP4-1	【教育実践開発科目群】：3年次以降に実践的な模擬指導演習や学校現場での教育実習で、身に付けた専門性を試行して学修の到達を振り返る	○	○	○	○	◎	◎
(CP5) 卒業研究：大学での学びの集大成							
CP5-1	【卒業研究】：専門分野に関わり、自ら研究テーマを設定し、文献調査、実地調査、質問紙調査、実験、制作などを通して学術的に探究し、まとめ、発表する		○			○	◎

## 研究組織（教員組織）

教育科学系	教育研究分野
生活科教育講座	教育学, 教科教育学, 生活科教育, 総合的学習
特別支援教育講座	特別支援教育, 臨床心理学, 視覚聴覚障害心理学, 福祉教育, 授業のユニバーサル・デザイン
幼児教育講座	教育学, 児童福祉, 障害児保育, 身体教育学, 保育内容学(健康・表現), 身体表現, 教科教育学, 造形教育, 造形表現, 教育心理学, 音楽表現教育, 作曲
養護教育講座	実験心理学, 生理人類学, 生理学一般, 地域看護学, 応用健康科学, 教科教育学, 公衆衛生学・健康科学, 地域・老年看護学, 細菌学(含真菌学), 分子生物学, 食品科学, 分析化学, 健康・スポーツ科学, 学校づくり, 学校保健学, 養護教育学
学校教育講座	教育心理学, 教授心理学, 発達心理学, 教育哲学, 教育学, 社会心理学, 教育方法学, カリキュラム研究, リテラシー教育, 学校心理学, 教育社会学, 教育課程, 日本教育史, キャリア教育, 特別活動, 比較教育学, カリキュラム・教育方法学, 教育経営学・教師教育学, アメリカ教育学, 道德教育, 教材論, 授業論, 学級経営, 授業分析
心理講座	(教育支援専門職養成課程専任教員が所属のため省略)
福祉講座	(教育支援専門職養成課程専任教員が所属のため省略)
教育ガバナンス講座	(教育支援専門職養成課程専任教員が所属のため省略)
教職実践グループ	学級経営, 理科教育, 授業づくり, 算数科教育, 数学科教育, 特別支援教育, 学校づくり, 教育政策, 教育法規, 教科教育, 児童福祉
人文社会科学系	教育研究分野
国語教育講座	日本語学, 日本文学, 教科教育学, 美学・美術史, 書道, 書道史, 書論, 書道科教育, 教科教育学(国語科教育学), 日本近現代文学, アニメーション文化学, 中国文学, 中国哲学
日本語教育講座	言語学, 日本語学, ドイツ語学, 社会言語学, ツングース語学, 日本語教育学
社会科教育講座	人文地理学, 地理学, 教科教育学, 日本史, 学校教育学, 教科教育, 日本思想史, 日本中世史, 法律学(憲法), 文化人類学・民俗学, 教科開発学, 社会科教育, 哲学・倫理学, 宗教学, 中東地域研究, ジェンダー論, 哲学, 倫理学, 東洋史(中国史), 都市地理学, 社会・文化地理学
外国語教育講座	外国語教育, 教科教育学, コーロッパ語系文学, 各国文学・文学論, 英語史, 英語学, 言語学, 応用言語学, 英語教育, 教員養成教育実習, 第二言語習得, リサーチメソッド, 小学校英語教育, アジア諸国の言語教育, 社会言語学
日本語教育支援センター	多言語文化教育, ICT教育
自然科学系	教育研究分野
数学教育講座	科学教育, 解析学基礎, 常微分方程式, 数学教材研究, 位相幾何学, 教科教育学, 統計科学, 微分方程式論, 代数学, 数学一般(含確率論・統計数学), 大域解析学, 代数的組合せ論, 数学教育学
情報教育講座	教育工学, ファジィ集合論, 知能情報学, 図書館情報学・人文社会情報学, 認知科学, 言語学, 日本語学, 実験心理学, 情報工学, 知覚情報処理, 人工知能, 人工生命, プログラミング教育, ソフトウェア
理科教育講座	地質学, 層位・古生物学, 無機化学, 錯体化学, 物性, 量子ビーム科学, 科学教育, 教科教育学, 素粒子・原子核物理学, 発生遺伝学, 宇宙物理学, 天文学, ブラックホール物理学, 一般相対論, 固体地球物理学, 物理探査学, 有機化学, 生物生産化学, 生物有機化学, 機能物質化学, 生体関連化学, 生物分子科学, 生物学, 表面科学, 岩石学, 鉱物学, 素粒子論, 物理化学, 合成化学, 高分子化学, 環境関連化学, 有機合成化学, 細胞生物学, 植物遺伝学, 生物多様性・分類, 生態・環境, 気象・海洋物理・陸水学, X線天文学, ナノ材料・ナノバイオサイエンス, 固体地球惑星物理学, 物性Ⅱ, 原子・分子・量子エレクトロニクス・プラズマ, 素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理, 理科教育, 植物系統分類学, 進化生態学, 太陽惑星系科学, プラズマ科学, 計算科学
創造科学系	教育研究分野
音楽教育講座	科学教育, 実験心理学, 教科教育学, 音楽教育法, ピアノ演奏法, 音楽教育(声楽), 教育学, 作曲・指揮, 音楽心理学, 音楽生理学, 共感性, 感情認知, 音楽療法, 音楽共有
美術教育講座	ビザンティン美術史, 鋳造, 仏教絵画史, 教科教育学, デザイン教育, 新聞活用学習, 広告コミュニケーション, 教科教育, プロダクトデザイン, ガラス工芸, 教育工学, 美学・美術史
保健体育講座	西洋史, 社会学, 教育学, スポーツ運動学, 体育科教育学, スポーツ科学, 公衆衛生学, 保健科教育学, 体育科教育, 地球化学, 環境保全, 環境安全学, 身体教育学, 舞踊教育
技術教育講座	科学教育, 応用物性・結晶工学, 電子・電気材料工学, 技術教育, 農学, 栽培学, 機能材料・デバイス, 金属物性, 教科教育学, 教育工学, コンピュータサイエンス教育, 計測・制御を用いたプログラミング教育, プログラミング言語, 情報教育, 計算機科学, 情報技術教育
家政教育講座	食生活学, 食品学, 被服構成学, 家政学, 社会学, 教育方法学, 家庭科教育
健康支援センター	(健康支援センター専任教員が所属のため省略)